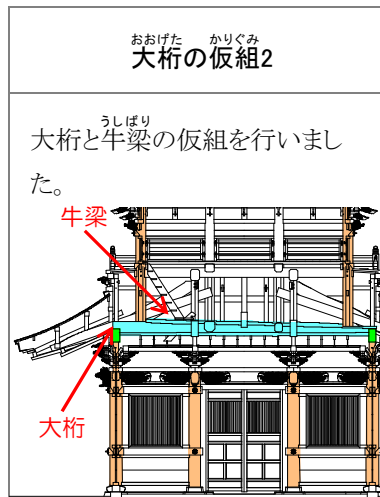




おおげた かりぐみ  
大桁の仮組1

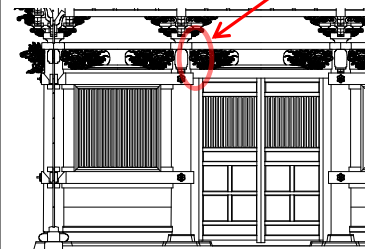
大桁を柱の上に乗せる前に仮組を行いました。仮組を行うことで実際に柱に乗せた時にスムーズに組上げることができます。



柱の取付き部分の調整

古材の形に合わせて、新材を微調整しました。柱と頭貫の取り合いを調整しています。

この部分です





かべいた  
壁板の仮組

繕いを終えた壁板の仮組を行いました。



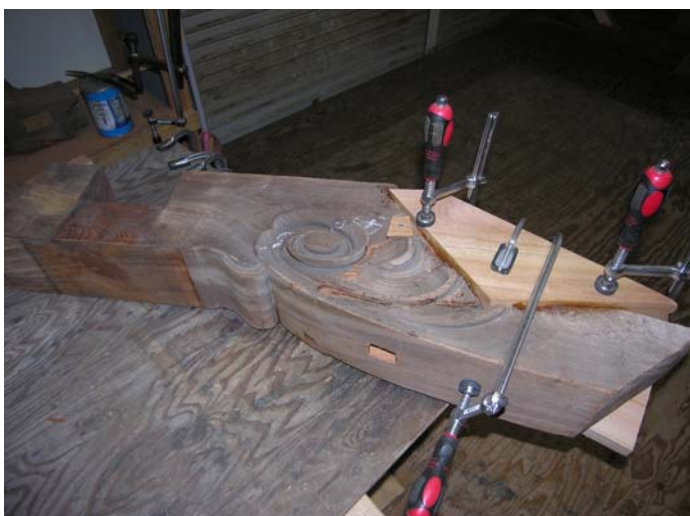
(公募写真) この部材です

ゆかばり  
床梁の補修

ほぞ  
倒壊時に柄が折れてしまった  
ので新材で補修しました。  
この部材です

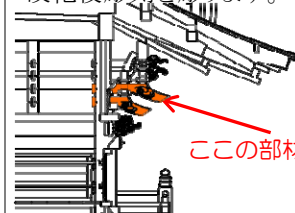


ほぞ  
柄  
(上層の柱に差さります。)



おだるき  
尾垂木の補修

倒壊時の割れや欠け、キズを  
埋め木や矧ぎ木、接着剤貼り付  
けを行い補修しました。接着剤  
硬化後彫刻を彫ります。



この部材です



ぬき貫の新材加工

取替となった貫の新材加工を行いました。

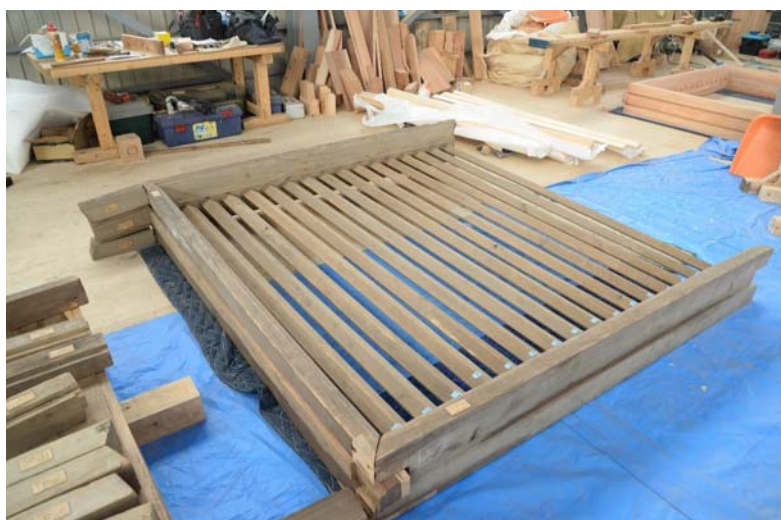
この部材です

新材柱の<sup>かん</sup>鉋仕上げ

新材は鉋仕上げを行いました。  
だい<sup>かん</sup>鉋の一種である「<sup>うちまる</sup>内丸鉋」を使って仕上げました。

ひらが<sup>な</sup>平鉋  
(平らな材を仕上げる通常の台鉋)

うちまる<sup>かん</sup>内丸鉋  
(丸柱の曲面にあった形の鉋)



れんじまど 連子窓の仮組

連子窓の仮組を行いました。

この部材です



こしょくぬり  
古色塗

新材の部分には古材との色合いを合わせるために、色調整をした墨汁を塗りました。

色合わせを行いました。



りっちゆうさい  
立柱祭

2/18(木) 立柱祭がありました。



↑ 柱を打ち固め、建物の永遠の安泰を祈念しました。



すやね  
素屋根内状況

素屋根4階より撮影(2月)。立柱祭後に組立用の足場を組み立てました。

